

令和3年産飼料用米の出荷方式、品種別面積

	作付 面積	出荷方式別面積				飼料用米の品種別面積			
		一括 管理	割合	区分 管理	割合	一般 品種	割合	多収 品種	割合
北海道	6,513	1,964	30%	4,549	70%	4,164	64%	2,349	36%
青 森	7,701	204	3%	7,497	97%	3,074	40%	4,627	60%
岩 手	4,683	357	8%	4,326	92%	976	21%	3,707	79%
宮 城	8,076	996	12%	7,080	88%	7,183	89%	893	11%
秋 田	3,903	1,491	38%	2,413	62%	2,651	68%	1,252	32%
山 形	4,628	1,210	26%	3,418	74%	1,519	33%	3,109	67%
福 島	10,038	3,401	34%	6,638	66%	7,715	77%	2,323	23%
茨 城	11,760	1,734	15%	10,026	85%	7,157	61%	4,603	39%
栃 木	12,482	95	1%	12,386	99%	12,161	97%	320	3%
群 馬	1,321	359	27%	962	73%	1,248	94%	73	6%
埼 玉	2,910	1,326	46%	1,584	54%	2,422	83%	487	17%
千 葉	8,190	3,550	43%	4,640	57%	4,595	56%	3,595	44%
東 京	0								
神奈川	10	10	100%	0	0%	10	100%	0	0%
新 潟	3,768	1,658	44%	2,110	56%	1,984	53%	1,785	47%
富 山	1,952	268	14%	1,683	86%	1,121	57%	830	43%
石 川	1,389	650	47%	739	53%	1,035	74%	355	26%
福 井	1,490	193	13%	1,296	87%	584	39%	906	61%
山 梨	18	3	19%	15	81%	12	67%	6	33%
長 野	362	193	53%	168	47%	200	55%	162	45%
岐 阜	3,009	1,393	46%	1,616	54%	2,108	70%	901	30%
静 岡	1,075	4	0%	1,070	100%	217	20%	858	80%
愛 知	2,086	1,483	71%	603	29%	1,895	91%	190	9%
三 重	2,043	228	11%	1,815	89%	991	49%	1,052	51%

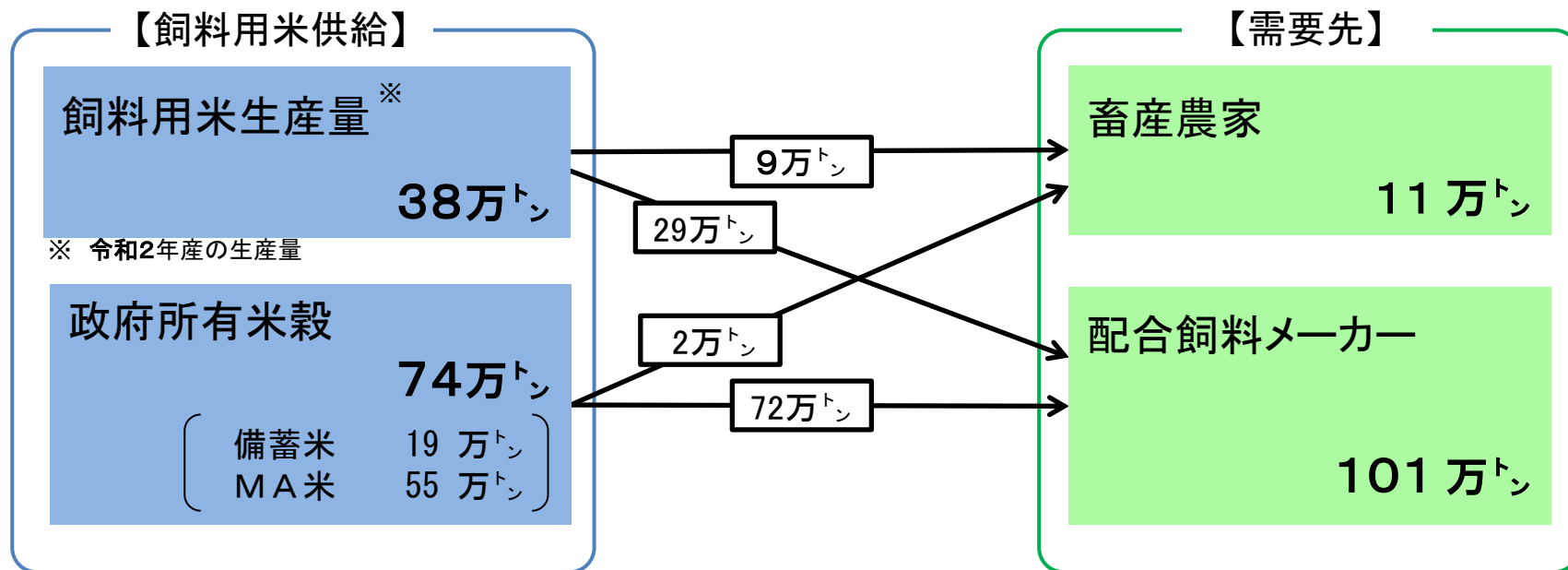
	作付 面積	出荷方式別面積				飼料用米の品種別面積			
		一括 管理	割合	区分 管理	割合	一般 品種	割合	多収 品種	割合
滋 賀	1,681	331	20%	1,349	80%	1,063	63%	618	37%
京 都	101	1	1%	100	99%	14	14%	87	86%
大 阪	6	6	100%	0	0%	6	100%	0	0%
兵 庫	554	9	2%	546	98%	164	30%	390	70%
奈 良	34	4	11%	30	89%	30	88%	4	12%
和歌山	2	1	43%	1	57%	1	43%	1	57%
鳥 取	707	0	0%	707	100%	8	1%	699	99%
島 根	779	3	0%	776	100%	55	7%	723	93%
岡 山	1,730	830	48%	900	52%	1,198	69%	532	31%
広 島	424	19	4%	405	96%	112	26%	312	74%
山 口	978	0	0%	978	100%	254	26%	725	74%
徳 島	881	543	62%	338	38%	581	66%	300	34%
香 川	139	25	18%	114	82%	66	48%	73	52%
愛 媛	271	63	23%	208	77%	90	33%	182	67%
高 知	991	136	14%	855	86%	455	46%	536	54%
福 岡	2,192	1	0%	2,191	100%	13	1%	2,179	99%
佐 賀	730	0	0%	730	100%	125	17%	605	83%
長 崎	112	7	6%	105	94%	62	55%	50	45%
熊 本	1,295	54	4%	1,241	96%	185	14%	1,110	86%
大 分	1,565	1	0%	1,564	100%	225	14%	1,340	86%
宮 崎	486	49	10%	437	90%	101	21%	385	79%
鹿児島	679	130	19%	550	81%	367	54%	313	46%
沖 縄	0								
合 計	115,744	24,983	22%	90,761	78%	70,198	61%	45,546	39%

注1：東京都及び沖縄県では飼料用米の作付けはない。
注2：「一括管理」とは主食用米と同一のほ場で飼料用米を生産する管理方法であり、「区分管理」とは主食用米を生産するほ場とは異なるほ場で飼料用米のみを作付ける管理方法である。
注3：「多収品種」とは「国の委託試験等によって育成され、一般品種と比べ子実の収量が多いことが確認された品種」及び「一般的な品種と比べて子実の収量が多く、当該都道府県内で主に主食用以外の用途向けとして生産されているもので、全国的にも主要な主食用品種でないもののうち、知事の申請に基づき地方農政局長等が認定した品種」である。

飼料用米の供給状況

- 現状、飼料用に112万トンの米が畜産農家・配合飼料メーカーに供給されているところ。

米の飼料用としての供給量（令和2年度）



出典：農林水産省穀物課調べ

【今後の課題】

- 配合飼料の主原料であるとうもろこしと同等、またはそれ以下の価格での供給が必要。
- 飼料工場毎の施設規模や配合設計・計画に見合う安定的な供給が必要。（短期・大量の受け入れは不可）
- その他、飼料用米の集荷・流通・保管施設や直接供給体制の構築等の集荷・調製等に伴うコスト削減等の体制整備が必要。

配合飼料メーカーの立地状況と飼料用米の集荷・流通体制

- 飼料用米の産地は全国に存在するが、配合飼料工場は、主に、太平洋側の港湾地域に立地が集中。
- 飼料用米については、生産者団体による飼料用米の集荷・流通体制が確立されていることから、稲作農家自らが需要先の確保や配合飼料工場への供給に携わらずとも、飼料用米の生産に取り組むことが可能。

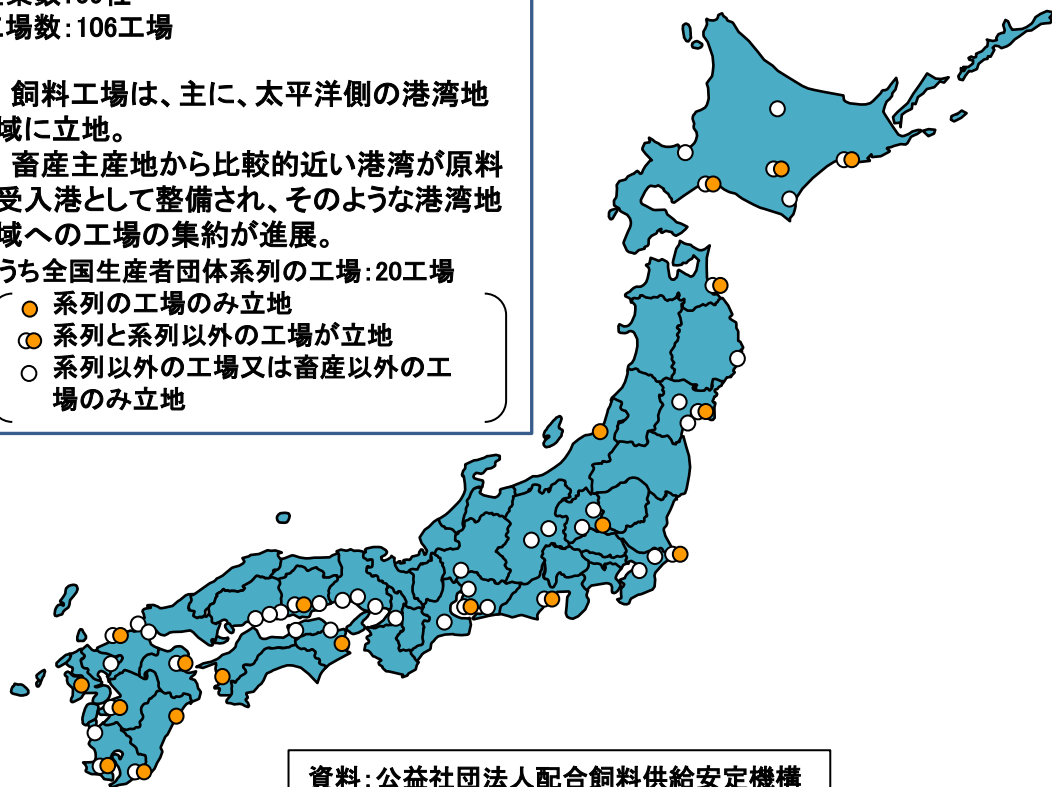
配合飼料工場の立地状況※1

企業数:59社
工場数:106工場

- ・ 飼料工場は、主に、太平洋側の港湾地域に立地。
- ・ 畜産主産地から比較的近い港湾が原料受入港として整備され、そのような港湾地域への工場の集約が進展。

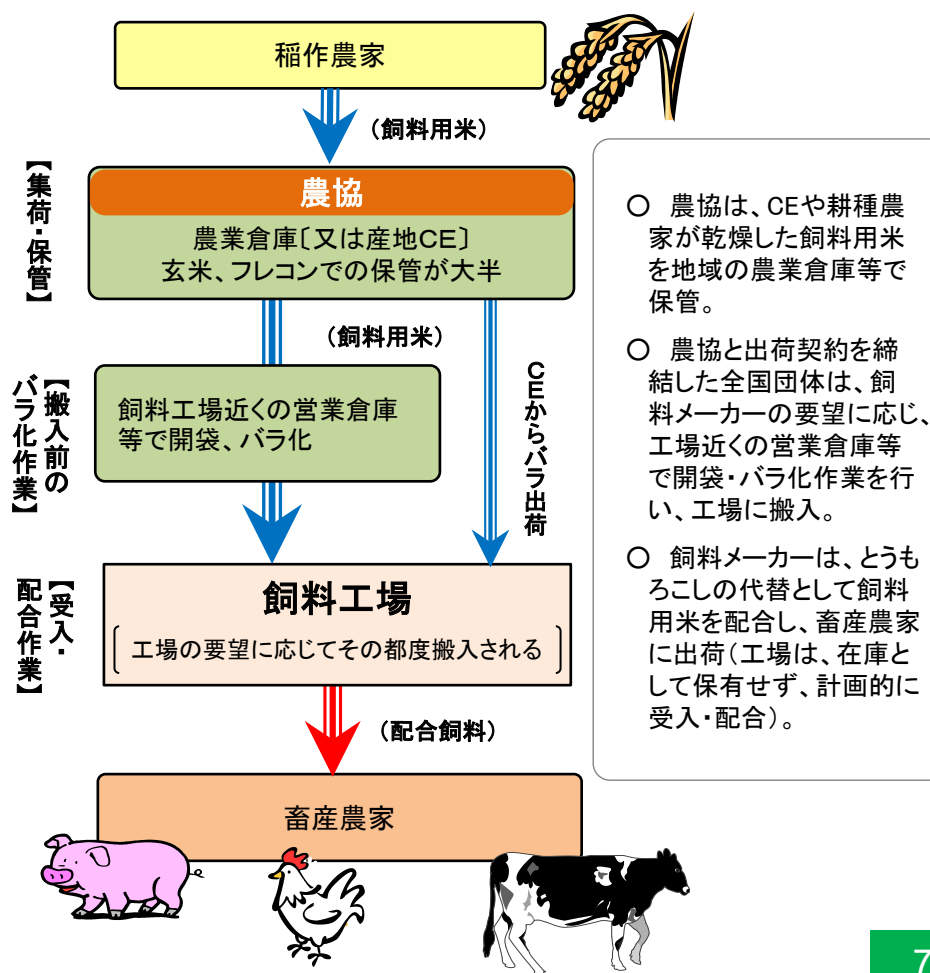
うち全国生産者団体系列の工場:20工場

- 系列の工場のみ立地
- 系列と系列以外の工場が立地
- 系列以外の工場又は畜産以外の工場のみ立地



資料:公益社団法人配合飼料供給安定機構
「配合飼料産業調査」を基に作成
※1 本調査に協力を得られた承認工場及び承認工場を有する企業を対象としている

全国生産者団体による飼料用米の集荷・流通体制

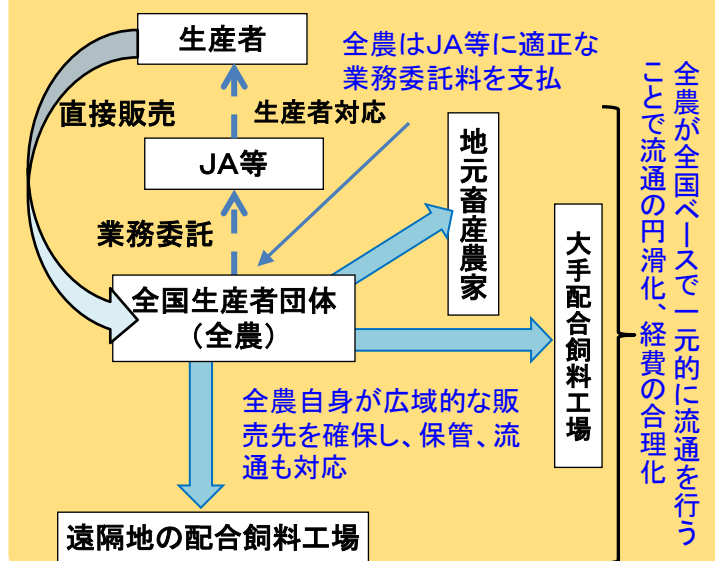


(参考) 飼料用米の流通経費について(全国生産者団体による集荷・流通の場合)

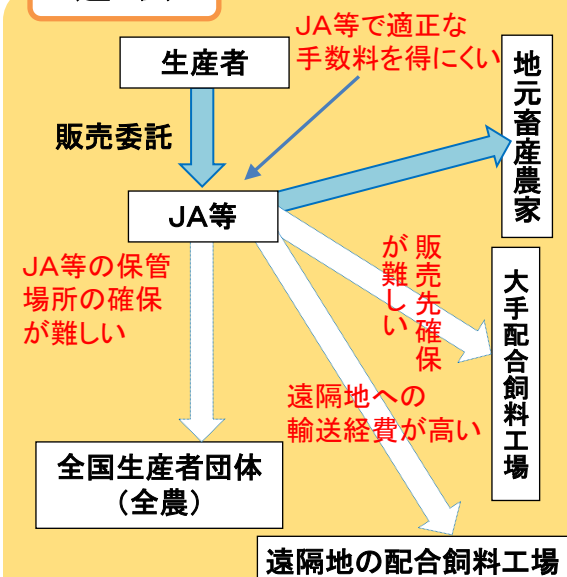
- 全国生産者団体(全農)は、飼料用米を生産者から直接買い取り、自ら保管・流通・販売する仕組みを創設し、運用している。
- 全農に出荷された米の輸送経費は、基本的には輸送距離に応じて高くなるが、契約した運送業者等における帰り荷の有無等も影響するため、輸送距離のみによって決まるものではない。
- 流通経費は、一般的に金利・倉敷料や販売手数料等の他の経費と合わせて計算され、生産者が受け取る販売代金から差し引くことで精算されている。

全農による飼料用米の直接買取りスキーム

現在



過去

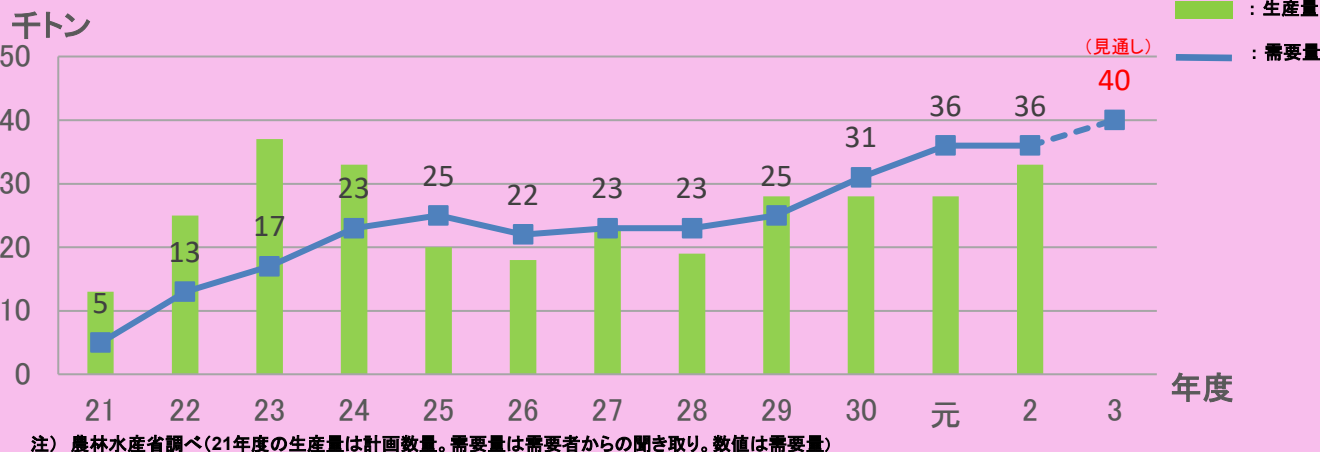


※ 農林水産省では、全国生産者団体(全農)が創設した仕組みの運用を可能とするため、「米穀の出荷販売業者が遵守すべき事項を定める省令」(平成21年11月5日農林水産省令第63号)を一部改正(平成26年11月公布、平成27年2月施行)

米粉用米の状況

- 米粉用米の需要量は、平成24年度以降、2万トン程度で推移。米粉の特徴を活かし、グルテンを含まない特性を発信する「ノングルテン米粉第三者認証制度」や「米粉の用途別基準」の運用を平成30年から開始したところであり、米粉の需要量が拡大。
- さらなる米粉の国内普及・輸出拡大に向けて、令和2年10月にノングルテン米粉の製造工程管理JASを制定し、令和3年6月から認証を開始。

米粉用米の生産量・需要量の推移



ノングルテン米粉表示

- ◆ グルテンフリー表示は、グルテンが原因となる疾患対策として、欧米で制度化されている表示制度(グルテンの含有基準値20ppm)。
- ◆ 高品質な日本産米粉をアピールするため、グルテン含有量1ppm以下の製品を対象とした表示制度である、「ノングルテン米粉第三者認証制度」の運用を平成30年6月から開始。
- ◆ ノングルテン米粉を使用した加工食品を登録し、ノングルテン米粉使用マークを付与する仕組みを令和元年9月に開始。



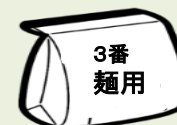
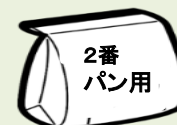
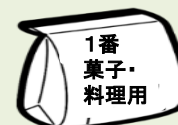
ノングルテン米粉の製造工程管理JAS

- ◆ 米粉の製造工程において、グルテンが混入する可能性のある箇所を特定し、グルテンの混入を防ぐことにより、製品のグルテン含有量が1ppm以下となるように製造工程を管理。
- ◆ ノングルテン米粉第三者認証制度による製品認証との二本柱により米粉の輸出や需要拡大に寄与。



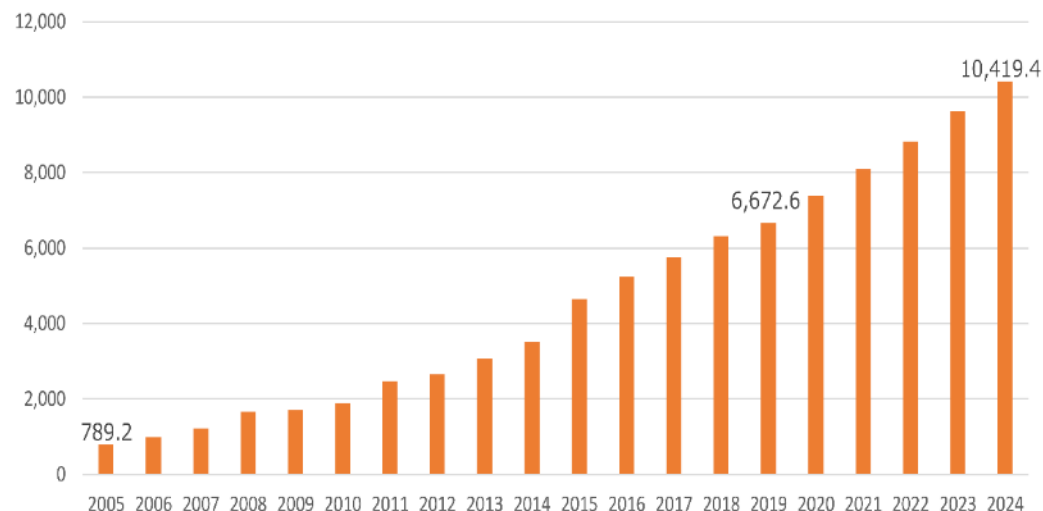
米粉の用途別基準

- ◆ 米粉の用途別の加工適正の統一表記(1番:菓子・料理用、2番:パン用、3番:麺用)を行う「米粉の用途別基準」を平成30年1月から開始。



世界のグルテンフリー市場規模

アメリカや欧州を中心に、
世界のグルテンフリー市場は順調に拡大しており、
2024年には約100億USDに達する見込み



図：世界のグルテンフリー市場

注：2020年以降は予測値
出所：Euromonitor Dataを基にJFOODOにて作成

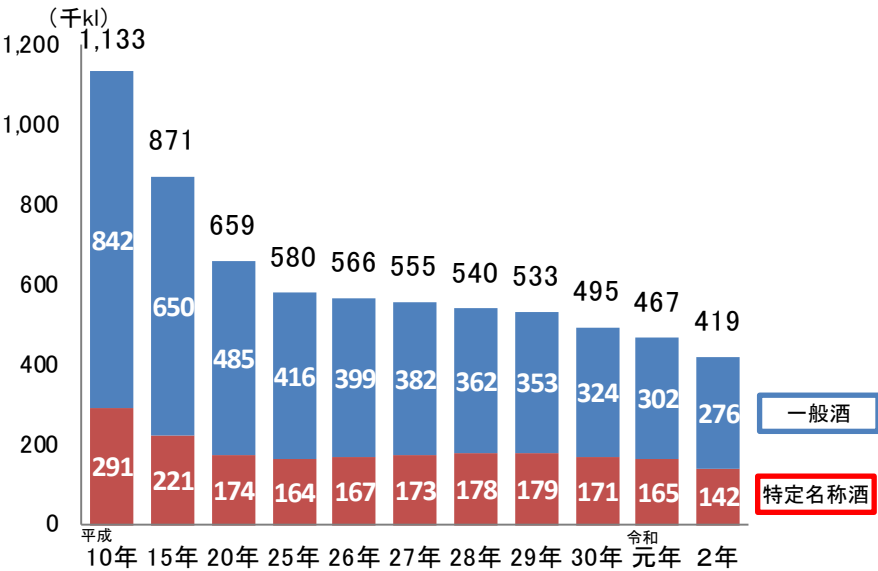
米粉によるグルテンフリー市場の 取り込みに向けて

- ◆ グルテンフリー市場は、麦類に含まれるグルテンによるアレルギー、セリアック病、グルテン過敏症、ダイエット等に対するニーズにより形成
- ◆ 米は成分としてグルテンを含んでいないため、近年、米粉やその米粉を利用した商品の製造に取り組むメーカーも増加
- ◆ 平成30年6月から、グルテンフリー表示よりも高い水準をクリアして、グルテン含有「1ppm以下」の米粉を「ノングルテン表示」でアピールする「ノングルテン米粉第三者認証制度」を開始
- ◆ また、令和2年10月には、更なる輸出拡大に向けて「ノングルテン米粉の製造工程管理JAS」を制定

日本酒原料米の需要動向について

- 日本酒原料米の使用量については、日本酒出荷量の減少に伴い、減少傾向にある。
- 令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、業務用の日本酒を中心に国内出荷量が対前年比▲10%と減少。特に、酒造好適米を多く使用する特定名称酒は対前年比▲14%と大幅に減少。さらに、輸出についても、令和2年8月まで大幅に減少し、9月以降回復したものの、年間トータルでは対前年比▲13%と減少。
- 令和3年は、国内出荷については、前年同時期(1月～9月)と比べて▲3%の出荷量となっている一方、輸出については、中国、香港等への輸出が好調で、対前年比+62%、新型コロナウイルス感染症の影響がなかった一昨年と比較しても+20%と増加している。

○ 日本酒の国内出荷量の推移



資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。
注1：国内出荷量は、清酒課税移出数量。
2：日本酒は、一般酒のほか、原料、製造方法等の違いによって吟醸酒、純米酒等8種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。

○ 日本酒の輸出数量の推移

平成	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和	元年	2年
8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	22		

資料：「貿易統計」(財務省)。年は暦年。

○ 日本酒原料米の使用量

	平成 10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	令和 元年産
日本酒原料米	405	315	261	243	248	251	241	240	227	206
酒造好適米	99	75	77	76	90	99	97	94	88	83
加工用米	86	89	74	95	105	94	93	88	90	85
その他	220	151	110	72	53	58	51	58	49	38

資料：農林水産省による推計値。

○ 令和3年の月ごとの日本酒の国内出荷量及び輸出量の推移

	R3年	1～9月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国内出荷量	256,561	23,707	30,805	36,861	37,625	22,091	28,241	26,938	21,474	28,820	
(前年同月比)	(97%)	(94%)	(92%)	(100%)	(107%)	(99%)	(99%)	(88%)	(87%)	(102%)	
特定名称酒	83,535	8,242	9,323	11,386	11,927	7,603	9,376	9,430	7,421	8,828	
(前年同月比)	(95%)	(80%)	(83%)	(104%)	(124%)	(108%)	(94%)	(89%)	(87%)	(93%)	
一般酒	173,026	15,466	21,482	25,475	25,698	14,488	18,865	17,508	14,052	19,992	
(前年同月比)	(97%)	(104%)	(96%)	(98%)	(101%)	(95%)	(102%)	(87%)	(88%)	(106%)	
輸出量	22,568	1,841	2,070	2,889	2,884	2,623	2,631	2,670	2,573	2,386	
(前年同月比)	(162%)	(133%)	(114%)	(157%)	(211%)	(265%)	(187%)	(163%)	(183%)	(115%)	

資料：国内出荷量は日本酒造組合中央会調べ。輸出量は「貿易統計」(財務省)。年は暦年。
注：日本酒の一般酒は、国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

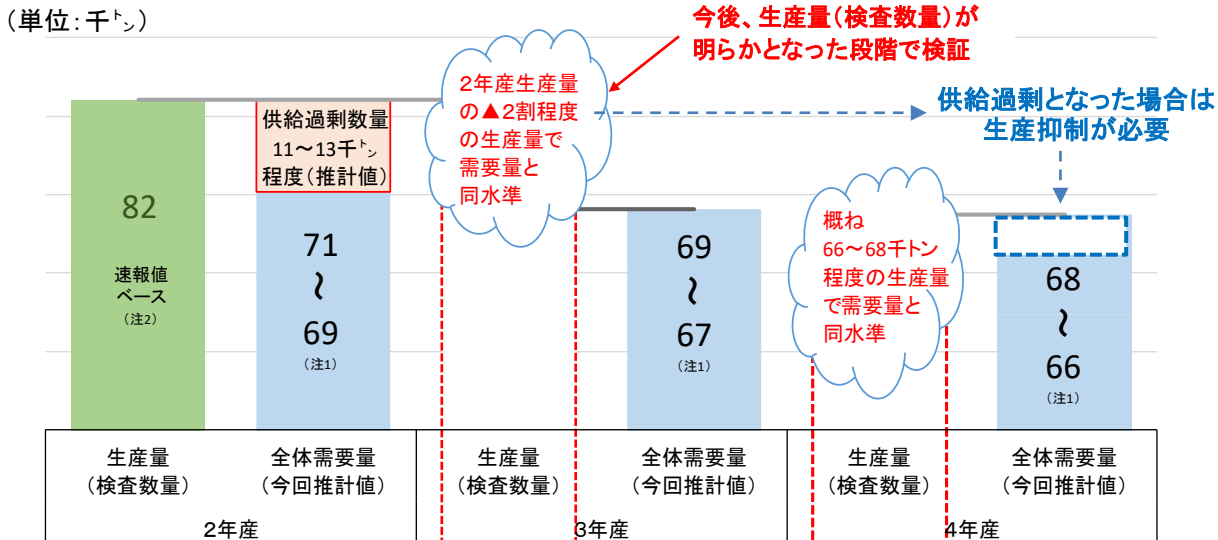
酒造好適米の需要に応じた生産について

- 酒造好適米の需要に応じた生産に向けて、生産及び実需の関係者による「日本酒原料米の安定取引に向けた情報交換会」を毎年開催するとともに、需要に応じた生産を行うための指標として、平成28年度から全酒造メーカーを対象とした酒造好適米の需要量調査を実施。
- 令和3年7月に実施した需要量調査によると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、
 - ① 令和2年産については、全体需要量（推計値）と生産量を比較すると、11～13千トン程度が供給過剰となっているものと推計され、
 - ② 令和3年産については、2年産の全体需要量から2千トン程度減少している。
 - ③ 令和4年産については、全体需要量と同水準の生産量とするためには、66～68千トン程度の生産量に生産抑制する必要。また、令和3年産において供給過剰となった場合には、さらに生産抑制が必要。

調査の実施状況

	令和2年度
調査期間	令和3年7月
調査対象	酒造メーカー 1,396社
回答数	717社
回答率 (数量ベース)	81～82%

酒造好適米の全体需給状況の見通し（推計）



注1: 各年産の全体需要量(今回推計値)は、今回の需要量調査の数量ベース回収率が、令和元年産酒造好適米の全体需要量(82～84千トン)と今回調査の令和元年産の需要量(約67千トン)から約81～82%と推計されるため、各年産の今回調査結果の需要量を当該割合で除することにより算出。

注2: 生産量は、農産物検査数量(醸造用玄米)の値。ただし、令和2年産は、令和3年3月31日現在の速報値。

⑤ コメの輸出・輸入

コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況

品 目 名		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年		(参考) 主な輸出先国	
						1～9月	対前年比		
コメ・コメ加工品	数量 (原料米換算)	28,668トン	32,202トン	35,505トン	36,442トン	31,603トン	+32%	アメリカ 香港 中国 台湾 シンガポール	
		金額	264億円	309億円	329億円	347億円	357億円		+66%
	コメ (援助米を除く)	数量	11,841トン	13,794トン	17,381トン	19,687トン	15,673トン	+16%	香港 シンガポール アメリカ 台湾 オーストラリア
		金額	32億円	38億円	46億円	53億円	41億円	+12%	
	米菓 (あられ・せんべい)	数量	3,849トン	4,053トン	4,033トン	4,222トン	3,786トン	+29%	アメリカ 台湾 香港 中国 シンガポール
		原料米換算	3,272トン	3,445トン	3,428トン	3,589トン	3,218トン	+29%	
		金額	42億円	44億円	43億円	45億円	41億円	+31%	
	日本酒 (清酒)	数量	23,482 キロリットル	25,747 キロリットル	24,928 キロリットル	21,761 キロリットル	22,568 キロリットル	+62%	中国 香港 アメリカ シンガポール 台湾
		原料米換算	13,227トン	14,502トン	14,041トン	12,257トン	12,712トン	+62%	
		金額	187億円	222億円	234億円	241億円	275億円	+88%	
	パックご飯等	数量	658トン	923トン	1,018トン	1,203トン	839トン	-2%	アメリカ 香港 台湾 ベトナム タイ
		原料米換算	346トン	485トン	535トン	632トン	441トン	-2%	
		金額	3億円	5億円	5億円	7億円	4億円	-7%	
	米粉及び米粉製品 (米粉麺等)	数量			118トン	249トン	67トン	-57%	タイ オランダ アメリカ 台湾 香港
		原料米換算			146トン	308トン	83トン	-57%	
		金額			0.3億円	0.7億円	0.4億円	-18%	
コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品	数量 (原料米換算)	12,187トン	14,279トン	18,062トン	20,627トン	16,197トン	+14%	アメリカ 香港 中国 台湾 シンガポール	
	金額	35億円	42億円	52億円	60億円	46億円	+9%		

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。パックご飯等は2017年より、米粉は2019年より、米粉麺等は2020年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。

注2：米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

注3：2021年のパックご飯等の実績は財務省貿易統計HPに掲載されている「確報値公表後における修正情報の掲載について」（<https://www.customs.go.jp/toukei/sankou/teisei/>）におけるフィリピン向けの数量及び金額の修正を農林水産省にて反映させたもの。

商業用のコメの輸出数量及び輸出金額の推移

- 2020年のコメの輸出数量は対前年比13%増の19,687トン。香港・シンガポールにおいて業務用需要が堅調な一方、アメリカや欧州を中心にコンテナ不足等を要因とした海上運賃の高騰による影響があり、2021年1～9月の輸出実績は前年同期比16%増の15,673トン。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年 (1～9月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	7,640 (+69%)	2,234 (+56%)	9,986 (+31%)	2,709 (+21%)	11,841 (+19%)	3,198 (+18%)	13,794 (+16%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,687 (+13%)	5,311 (+15%)	15,673 (+16%)	4,080 (+12%)
香港	2,519	659	3,342	842	4,128	1,016	4,690	1,160	5,436	1,372	6,978	1,796	6,261 (+25%)	1,506 (+14%)
シンガポール	1,850	463	2,350	539	2,861	642	3,161	694	3,879	802	3,696	785	3,527 (+37%)	727 (+33%)
台湾	753	268	910	321	943	350	1,173	394	1,262	411	2,004	622	1,131 (-5%)	358 (+1%)
アメリカ	322	103	812	236	986	320	1,282	404	1,980	543	1,989	565	1,562 (+10%)	432 (+7%)
オーストラリア	273	84	357	109	476	145	635	197	770	233	1,074	334	607 (-21%)	191 (-19%)
中国	568	291	375	163	298	97	524	211	1,007	363	1,002	321	325 (-51%)	130 (-37%)
タイ	208	37	395	71	192	51	320	81	578	145	555	145	400 (+6%)	105 (+7%)
イギリス	189	60	326	98	695	191	422	121	450	131	451	131	254 (-13%)	77 (-9%)
ロシア	30	10	74	25	78	31	120	43	174	64	199	72	130 (-4%)	44 (-10%)
カナダ	85	23	96	29	92	28	138	43	158	51	205	62	151 (+12%)	51 (+25%)
モンゴル	134	24	198	33	203	32	336	56	315	53	347	58	50 (-78%)	12 (-69%)
ドイツ	91	29	90	32	62	26	92	36	140	52	144	58	155 (+48%)	57 (+33%)
その他	618 (+96%)	183 (+48%)	661 (+7%)	210 (+15%)	827 (+25%)	270 (+28%)	901 (+9%)	317 (+18%)	1,232 (+37%)	400 (+26%)	1,043 (-15%)	362 (-10%)	1,120 (+7%)	391 (+8%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：（ ）内は対前年同月増減率である。

注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

注3：対前年同期比を記載していないのは、前年同月の輸出実績がゼロのため。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。